



豊岡市
TOYOOKA

小さな世界都市「豊岡市」



兵庫県豊岡市

コウノトリ
豊岡産業用地



Local & Global City TOYOOKA

コウノトリ舞うふるさと豊岡

Home of the dancing Oriental White Storks

豊岡市は、兵庫県の北東部に位置し、北は日本海、東は京都府に接し、中央部には円山川が悠々と流れています。海岸部は山陰海岸国立公園、山岳部は氷ノ山 後山 那岐山国定公園に指定され、多彩な四季を織りなす自然環境に恵まれています。2005年9月には、国の特別天然記念物・コウノトリが放鳥され、今では日本の野外に300羽以上のコウノトリが暮らしており、人里で野生復帰を目指す世界的にも例がない壮大な取組みが着実に進んでいます。

産業は、農林水産業、観光業などが盛んです。特に観光業では、全国的に有名な城崎温泉をはじめ、西日本屈指の神鍋高原スキー場、但馬の小京都・出石城下町などを有し、年間を通じて多くの観光客が訪れています。また、地場産業としては、全国の4大産地の一つである「かばん」や「出石焼」などの生産が行われています。

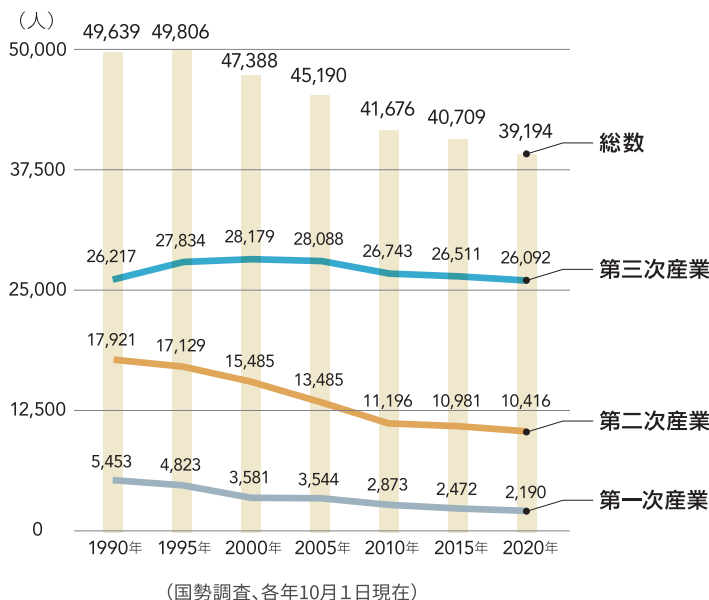


まちの概要

人口	77,489人(2020年国勢調査)	位置	東経134°49'、北緯35°32'(豊岡市役所)
世帯数	30,180世帯(2020年国勢調査)	広がり	東西38.8km、南北32.2km
人口密度	111.1人(1km ² あたり)(2020年国勢調査)	標高	最高1074.4m(蘇武岳)、最低0m
面積	697.55km ² (県内最大、県全体の8.3%)		

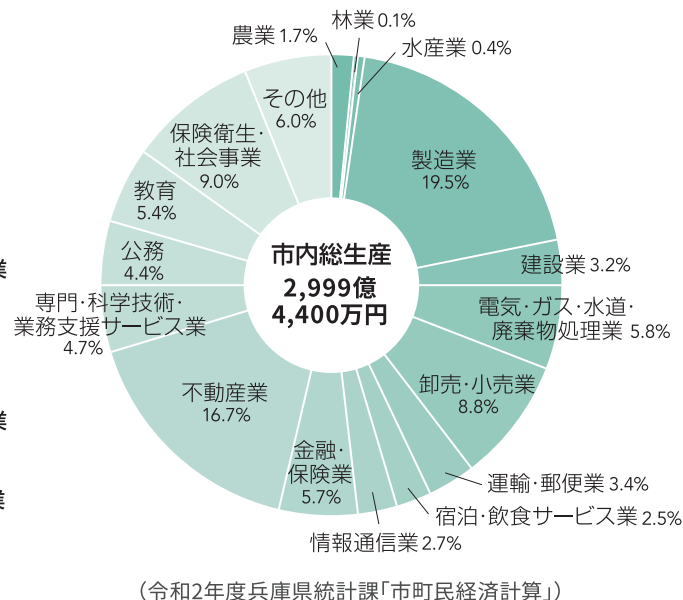
Number of employees by industry

産業別就業者数



GDP in Toyooka City

豊岡市総生産



主要な取り組みの紹介

Major initiatives

1

Living in harmony with the Oriental White Storks in Toyooka

コウノトリと共に生きる豊岡

一度は日本の空から姿を消したコウノトリ。その最後の生息地であった豊岡では、コウノトリを再び空へかえすための取り組みが行われてきました。「コウノトリが住める」ではなく、私たちの暮らしのありようを含む「コウノトリも住める」環境を再生し、創造していくことを目指しています。



2

Eliminating the gender gap

ジェンダーギャップの解消

「多様性を受け入れ、互いに支え合うまち」を目指すに当たり、最大の課題と考えられるジェンダーギャップ(性別に基づき定められた社会的属性、機会等の格差)の解消に向けて、さまざまな取り組みを進めています。(2021年3月 「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」の策定)

ジェンダーギャップが解消された豊岡市の未来



3

Creating depth-infused city community development through performing arts

深さをもった演劇のまちづくり

演劇のまちづくりは、豊岡に暮らす突き抜けた価値を創りあげるために必要なものです。城崎国際アートセンターは世界中からアーティストが集まり、県立の芸術文化観光専門職大学には演劇と観光を学ぶため全国から学生が集まっています。また、演劇のまちづくりのリーディングプロジェクトと位置付けられている「豊岡演劇祭」が毎年9月に開催されています。



「豊岡演劇祭2023」©トモカネアカネ



2021年4月開学「芸術文化観光専門職大学」

4

Promotion of Toyooka Good Local Agriculture

豊岡グッドローカル農業の推進

豊岡市では、『環境』『経済』『社会』をより良くし、持続可能で幸せを感じる社会の実現に貢献する農業を「豊岡グッドローカル農業」と呼び広く推進しています。農業者だけでなく、豊岡の農村・食に関わる全ての人が「豊岡グッドローカル農業」を理解し、一緒に育て、広げていくことを目指しています。



コウノトリの半世紀にも及ぶ復活への道のりで、多様な生きものを育むお米が生まれました。

新産業用地の紹介

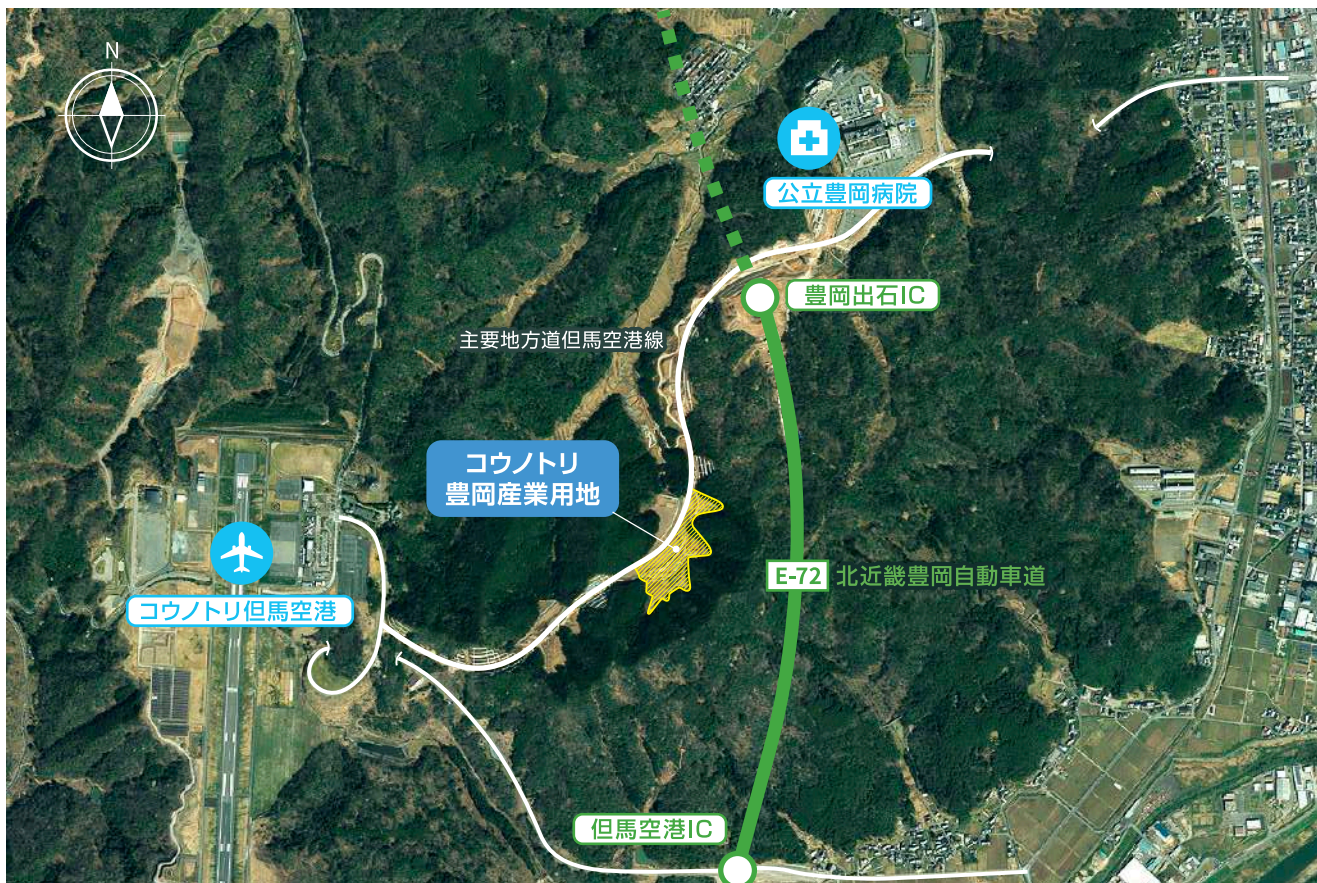
New industrial site

5

New industrial site "Stork Toyooka Industrial Site"

新しい産業用地「コウノトリ豊岡産業用地」

コウノトリ豊岡産業用地は、豊岡市の中心市街地から南方約3kmに位置し、緑豊かな自然環境に囲まれた産業用地です。また、北近畿豊岡自動車道へのアクセスが良好な主要地方道但馬空港線沿線に位置し、豊岡出石インターチェンジから約2分、コウノトリ但馬空港から約3分の交通利便性に優れた立地環境となっています。



※「豊岡出石IC」は2024年秋供用開始予定

豊岡出石インターチェンジから車で約2分。

交通利便性に優れた立地環境



但馬空港IC (車で約5分)



コウノトリ但馬空港 (車で約3分)



公立豊岡病院 (車で約3分)

新産業用地の紹介

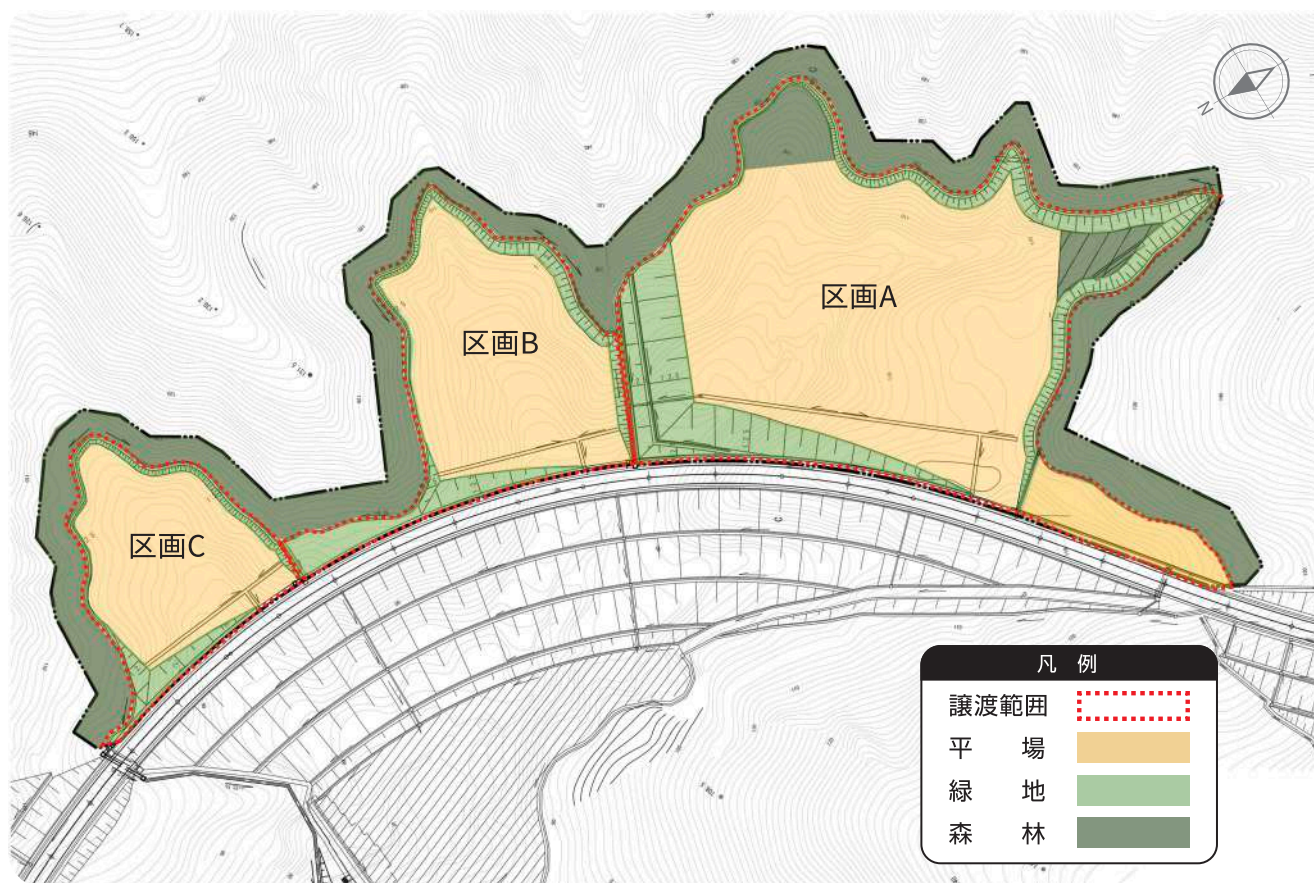
New industrial site

6

Outline of "Stork Toyooka Industrial Site"

コウノトリ豊岡産業用地の概要

事業予定地	豊岡市戸牧地区
区画数	3区画
分譲面積	全体 22,420㎡ 区画A 13,807.8㎡ (平場 8,618.2㎡) 区画B 4,864.0㎡ (平場 3,528.8㎡) 区画C 3,748.2㎡ (平場 2,533.5㎡) ※確定測量前の面積のため今後変更になります
立地可能業種	建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、 情報通信業、運輸業、卸売業、サービス業
建築条件	建蔽率60%、容積率200%
電力	高圧:6,600V
ガス	LPガス
用水	上水道 150t/日
排水	公共下水道
地域指定	県の産業立地条例に基づく投資促進地域(多自然地域)
用途地域	都市計画区域(非線引)
優遇措置	本社機能移転に係る国の支援策あり 県の産業立地条例に基づく支援策あり 豊岡市企業立地促進条例に基づく支援策あり



企業立地支援

Industrial location support

7

Various preferential treatment systems

各種優遇制度

兵庫県産業立地促進制度の支援内容(注1)

区分	支援内容	要件	
		大企業	中小企業
設備補助 (製造業のみ)	設備投資額の5% ※上限原則100億円 ※重点支援産業(注2)の場合は 設備投資額の7%(水素関連事業は10%)	投資額20億円以上	投資額1億円以上
雇用補助	新規正規雇用1人あたり60万円 新規非正規雇用1人あたり30万円 ※非正規雇用に係る支援は中小企業のみ	雇用人数10人以上	雇用人数5人以上
賃料補助	賃料の1/2(3年間) ※上限原則100万円/年	雇用人数10人以上 ※外国・外資系企業 人数要件無し	雇用人数5人以上 ※外国・外資系企業 人数要件無し
不動産取得税軽減	1/2	雇用人数10人以上	雇用人数5人以上
法人事業税軽減	1/2(5年間)	雇用人数10人以上かつ 投資額2億円以上	雇用人数5人以上かつ 投資額5千万円以上

※注1 投資促進地域(多自然地域)の豊岡市に立地する場合

※注2 重点支援産業(5分野)・・・①新エネルギー、環境関連産業(水素等次世代エネルギー、蓄電池、環境負荷を低減する製品)、②航空産業、③ロボット産業、④健康医療産業、⑤半導体産業

豊岡市企業立地促進制度の支援内容

制度名	支援内容	要件
雇用奨励金	新規正規雇用1人あたり30万円(5年間) ※上限3千万円	豊岡市企業立地促進条例に基づき市長が定める区域に工場等を新設または増設し、以下の要件を満たす者 ①投下固定資産 5千万円以上 ※情報通信業で、常用従業員の新規雇用者数3人以上の場合、この要件は問わない ②常用従業員の新規雇用者数 1人以上 ③業種 建設業、製造業、電気、ガス、熱供給、水道業、情報通信業、運輸業、卸売業、サービス業及び娯楽業(文化芸術の創造又は提供をするものに限る。)で規則に定める業種
工場等 設置奨励金	①土地又は建物の取得を伴う増設を行った場合 【奨励額】 工場等設置に係る土地・建物・機械設備等に対する固定資産税相当額 【期間】 操業開始日以降に固定資産税が賦課される年度から5年度間分 ②機械設備等(償却資産)の投資額が5千万円以上の場合 【奨励額】 投資した機械設備等(償却資産)に賦課される固定資産税相当額 【期間】 初年度課税分に相当する額を1回限り	

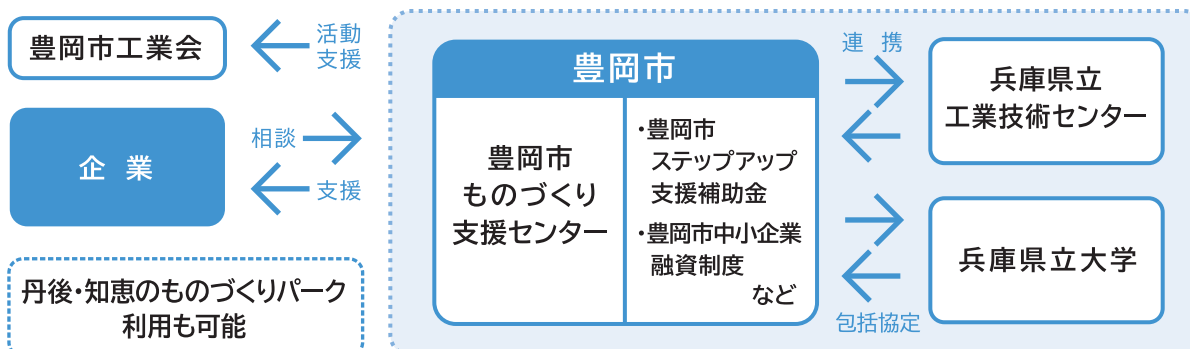
8

Manufacturing support

ものづくり支援

豊岡市ものづくり支援センターを中心に企業をバックアップ

- 専門知識を持った技術相談員がものづくり相談に応じます。
 - 兵庫県立大学との包括協定により技術セミナーの開催や技術相談(コーディネーターの派遣)を行っています。
 - スマートモノづくりセンターや県立工業技術センターなど兵庫県のものづくり支援も受けられます。
 - 豊岡市ステップアップ支援補助金により製品・技術開発や販路拡大などの事業支援を行っています。
- 特に環境経済事業(※注)については積極的に支援します。 ※注: 環境を良くする事業活動で利益が生まれるもの



環境経済戦略

Environmental economic strategy

9

Aiming to create a city resonating between environment and economy

環境と経済が共鳴するまちをめざして

かつて、豊岡の空には悠然とコウノトリが舞っていましたが、豊かであった自然環境は次第に姿を消し、同時にコウノトリも姿を消しました。しかし、経済を優先する時代にあってもコウノトリも住める郷づくりは続けられ、やがて地域を挙げての保護活動へと発展、2005年9月に絶滅から34年の歳月を経て自然放鳥し、2007年には46年ぶりにヒナが巣立ちました。この取り組みを通じて、環境と経済が共鳴するまちづくり『豊岡モデルの環境経済戦略』が広く理解され、豊かな自然と環境に惹かれた多くの企業や人が訪れるまちを目指しています。

豊岡モデルの
環境経済戦略
5つの柱

1

豊岡型
地産地消の
推進

2

豊岡型
環境創造型
農業の推進

3

コウノトリ
ツーリズムの
展開

4

環境経済型
企業の集積

5

自然
エネルギーの
利用

10

Industrial park in Toyooka City

豊岡市の工業団地

豊岡中核工業団地 Toyooka Core Industrial Park

豊岡中核工業団地は、豊岡市最大の工業団地であり、太陽電池製造業、金属バネ製造業、コンタクトレンズケア用品製造業、米菓製造業など、24の企業が操業し幅広い分野の企業が集積しています。カネカソーラーテック㈱は、太陽光パネルの製造を行っており環境経済型企業を代表する企業です。工業団地内企業の従業員数は1,838人、出荷額は365.5億円となっています。(2023年度工業団地単独調査)



所在地	豊岡市神美台
工業団地面積	89.2ha
工業用地面積	46.8ha
造成時期	S59.4～H4.3
分譲時期	S61.4～H18.2

立地企業

伊丹産業㈱、㈱播磨屋本店、㈱誠工社、東海バネ工業㈱、㈱豊岡丸エム製作所、OESアクアフオーコ㈱、新生化学工業㈱、㈱豊岡紙器、カネカソーラーテック㈱、豊岡地域エネルギーサービス(同)、㈱オフテクス、㈱オフテクスマニユファクチャリング、太陽ケーブルテック㈱、日本パワーファスニング㈱、㈱三笠鉄工、明和産商㈱、神織興業㈱、ニデック大豊機工㈱、信和化成㈱、㈱ウィック、㈱JAエネルギー兵庫、メルコパワーデバイス㈱、アサヒ金属㈱、㈱ピエント

三方東部工業団地 Mikata Eastern Industrial Park

三方東部工業団地は、神鍋高原スキー場の東に位置することから、冬はスキー客であふれ、夏は大学・高校等の合宿に利用される自然豊かな地域に隣接しています。北近畿豊岡自動車道の日高神鍋高原ICから約3キロ西に位置し、交通の利便性に優れています。工業団地内に4つの企業が操業し、従業員数は150人、出荷額は27.9億円となっています。(2023年度工業団地単独調査)



所在地	豊岡市日高町
工業団地面積	3.0ha
工業用地面積	2.1ha
造成時期	H2.11～H3.12
分譲時期	H3.12～H23.12

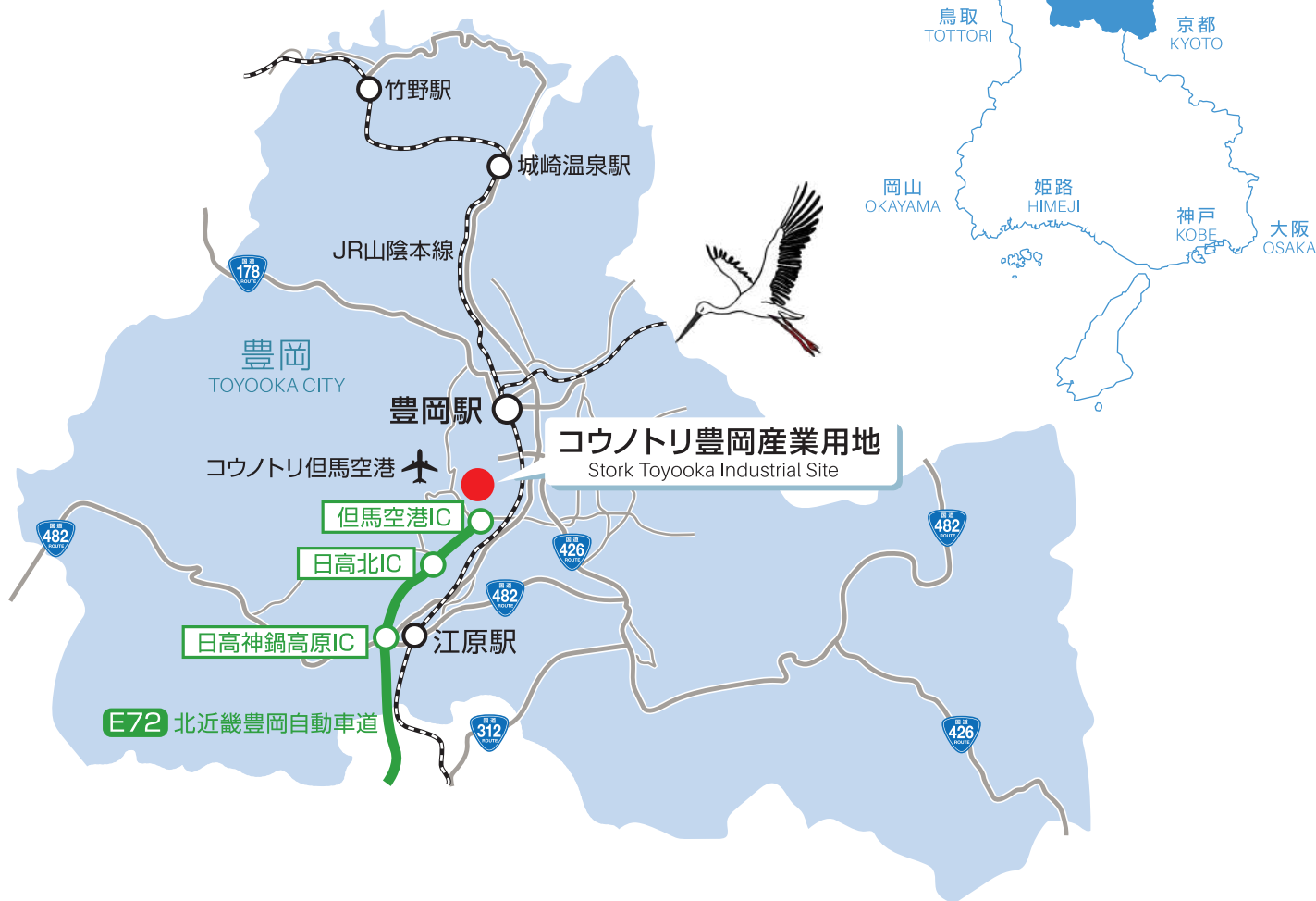
立地企業

㈱さんれいフーズ、㈱ミルクマン、㈱SHTプロダクツ、但銀ビジネスサービス㈱

豊岡市へのアクセス

Access to Toyooka City

豊岡市
TOYOOKA



ACCESS



クルマ

- 大阪・神戸から 【中国自動車道】→吉川JCT→【舞鶴若狭自動車道】→福知山I.C→一般道
【中国自動車道】→吉川JCT→【舞鶴若狭自動車道】→春日JCT→【北近畿豊岡自動車道】→但馬空港I.C→一般道
【中国自動車道】→福崎I.C→【播但連絡道路】→和田山JCT→【北近畿豊岡自動車道】→但馬空港I.C→一般道
- 京都から 【京都縦貫自動車道】→丹波I.C→一般道
- 姫路から 【播但連絡道路】→和田山JCT→【北近畿豊岡自動車道】→但馬空港I.C→一般道



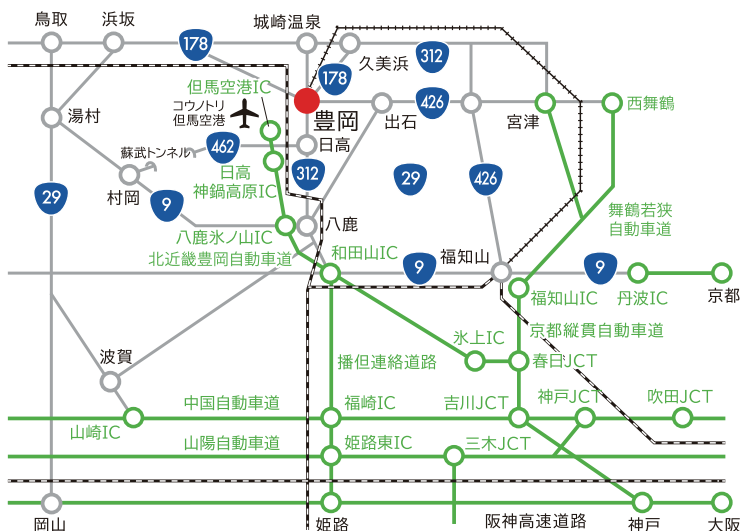
JR/特急

- 大阪駅→豊岡駅 約2時間30分
- 三ノ宮駅→豊岡駅 約2時間30分
- 京都駅→豊岡駅 約2時間20分



飛行機

- 大阪空港→コウノトリ但馬空港 約40分
- 羽田空港→大阪空港→コウノトリ但馬空港 約2時間



豊岡市

TOYOOKA CITY HYOGO PREFECTURE

豊岡市コウノトリ共生部環境経済課
〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2-4
TEL.0796-23-4480 FAX.0796-24-7801
<https://www.city.toyooka.lg.jp>



豊岡市ホームページ